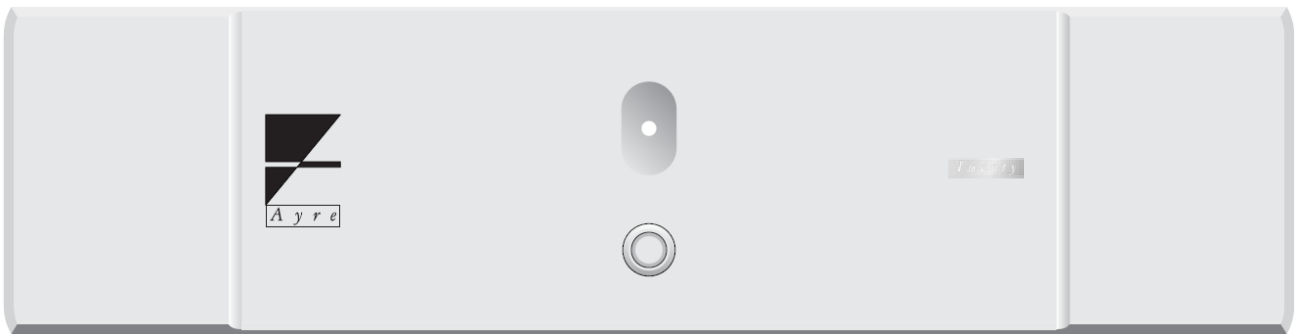




VX-5 Twenty
Stereo Power Amplifier
Owner's Manual



[取扱説明書]

Contents/目次

Welcome to Ayre/はじめに/諸注意(使用/設置/接続) 3

Connections/接続. 5

Operation/操作のしかた. 7

Customization/カスタマイズ. 9

Specifications/主な仕様. 11

Warranty/保証. 11

Welcome to Ayre/はじめに

このたびは、Ayre 製品をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

“VX-5 Twenty”は、「新ダブルダイヤモンド・パワーステージ」や「AyreLock」など、Ayre 最新の回路技術と、リファレンス・シリーズで確立した独自の EquiLock 増幅回路、伝統のゼロフィードバックによる全段フル・バランス、ディスクリート構成という、アンプ技術の集大成とも言える優れたテクノロジーによって生まれたステレオ・パワーアンプです。新ダブルダイヤモンド・パワーステージによる極めて高い電流駆動能力と精緻な位相直線性を両立させた出力パワーは、ディテール感豊かで鮮度の高い表現力と深く伸びやかな低域再生力で音楽の機微をダイナミックに再現しつづけます。その優れた分解能とナチュラルで心地よい音質のコンビネーションが醸し出すライブパフォーマンスの熱気と臨場感は、初めて音をお聴きいただいた瞬間にも鮮明に感じ取っていただけることでしょう。VX-5 Twenty は生涯にわたって、音楽に浸る喜びをお約束します。

- 本取扱説明書には、本機の設置や操作についての重要な情報が含まれています。本説明書を一通りお読みの上、設置や操作の詳細について充分にご理解いただき、正しくご使用の上、末長くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。



■ご使用上の諸注意

本機の性能を十分に引き出し、また安全にご使用いただくため、以下の点にご注意ください。

- 火災や感電等の危険を避けるため、湿気の多い場所や水のかかる場所で本機を使用しないでください。
- 火災や感電等の危険を避けるため、本機のカバーを取り外さないでください。内部にはお客様に調整していただく部品はありません。専門の技術者におまかせください。
- 本機を、水のかかりやすい場所、湿気の多い場所で使用しないでください。また水がかかった時は、すぐに電源コードをコンセントから抜いてください。
- 本機の内部にヘアピン等の特に金属の異物が入りこまないよう、充分にご注意ください。
- 本機を、暖炉やストーブなど熱源の近く、あるいは熱を発生する機器の付近で使用しないでください。
- 本機を、直射日光の当たる場所、あるいは低温になる場所で使用しないでください。
- 本機は指定された電源以外では使用しないでください。
- 本機のお手入れには柔らかい布をご使用ください。水やダストスプレー、溶剤、研磨剤、クリーニング剤等を直接シャーンに付けることは避けてください。
- 感電のおそれがありますので、スピーカー接続端子の金属部分(接点)や、接続したスピーカー・ケーブルの端子には手を触れないようにしてください。音が出ている時は、高い電圧や強い電流が流れますので、特にお子様などが触れたりしないよう、充分にご注意ください。

■設置について

- オーバーヒート防止のため、本機の両側、ならびに上方には最低でも 7.5cm の空きを設けてください。
- 本機をキャビネット内に設置する場合には、通気を確保する何らかの方法を講じる必要があります。
- 本機と他機を積み重ねないでください。

■接続の前に

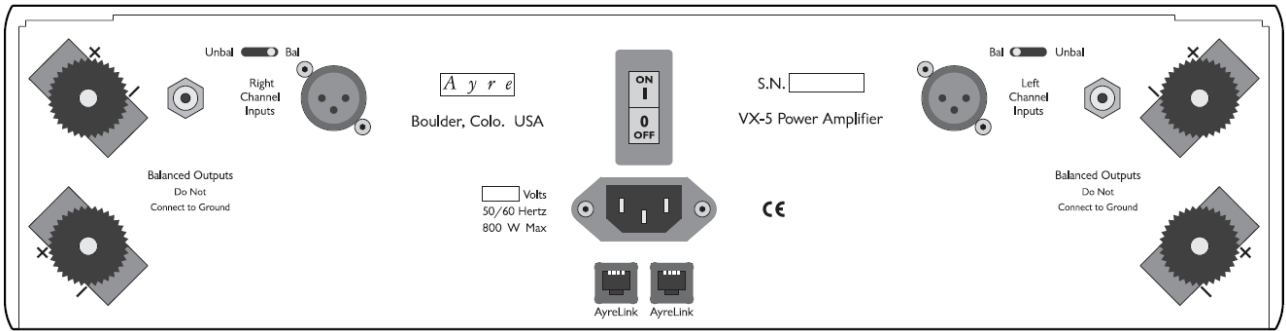
接続は、本機および接続する機器の電源コードをすべて抜いてから始めてください。



■付属電源コードの取扱いについて

本機に付属している電源コードは、本機専用のもので、他の機器にはご使用になれません。

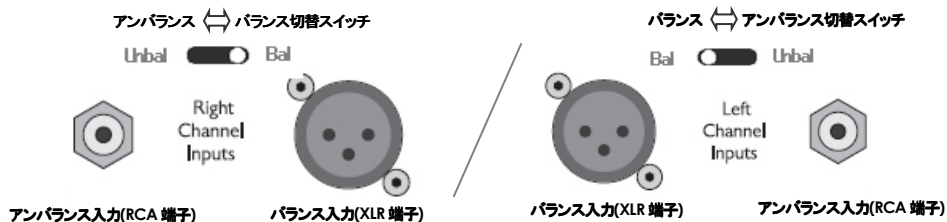
Connections/接続




[リアパネル]

■入力

- 本機の入力には、プリアンプ(またはボリューム・コントロールを備えたラインレベルの D/A コンバーター等ソース機器)を接続してください。
- 本機はバランス(XLR 端子)/アンバランス(RCA 端子)各1系統の入力を装備しています。





 バランス(XLR 端子)/アンバランス(RCA 端子)はいずれか一方を使用してください。
(両端子の同時接続はトラブルの原因となります。)

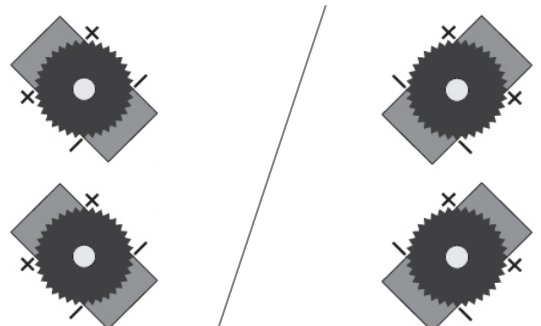
 バランス/アンバランスの切り替えスイッチを使用入力に合わせて切り替えてください。
(使用入力とスイッチが合っていないと、ハムノイズが発生する場合があります。)

■スピーカー出力

- 本機のスピーカー・アウトプットターミナルは、Y ラグ端子のスピーカー・ケーブルで最適な接続ができるよう設計されています。

 ・本機のスピーカー出力は左右ともに2組有り、バイワイヤ接続が可能です。

 ・本機のスピーカー出力は+/-ともにグランドからフロートされたバランス出力です。
・これらの出力をグランドにつながないでください。
(出力段が破損する恐れがあります。)
・また、スピーカーのスイッチボックスや、テスト機材(測定器など)は一般的に - がグランド接続となっていますので接続しないでください。



■AC 電源

- 付属の電源コードを、電源容量の十分ある100VのAC壁コンセントに直接接続します。延長コードのご使用は避けてください。また、本機は特に AC ライン・コンディショナーやフィルターを必要としませんが、ご使用になる場合は、本機の最大消費電力をカバーする容量が必要です。
- 電源コードを AC コンセントに差し込みリアパネルの主電源スイッチ入るとスタンバイ状態となります。

■ブレーク・イン

- 一般的にオーディオ機器は配線材やコンデンサーなどの習性により、機器がベストコンディションに達するまで音楽再生による「ブレーク・イン」運転が必要です。
そのブレーク・インとして、本機では 100～500 時間程度を要します。

Operation/操作のしかた

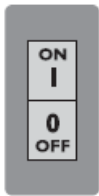
本機には2つの電源スイッチがあります(主電源スイッチとパワーON/スタンバイ&ミュートボタン)。
始めに主電源スイッチを ON にし、次に、
フロントパネル中央下部のボタンで「パワーON」と「スタンバイ」「ミュート」を操作してください。



- ・主電源スイッチは基本的に常時 ON でのご使用をお勧めいたします。
- ・長期間ご使用にならない場合には、主電源をお切りください。

以下、各機能をご説明します。

■主電源 ON/OFF スイッチ (リアパネル)

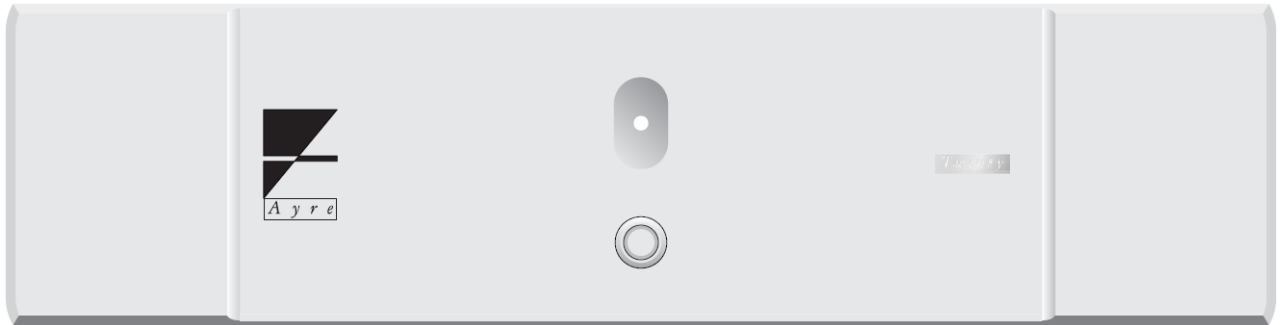


リアパネル中央上側に、主電源を ON/OFF するシーソー式スイッチがあります。
「ON」側に押すと本機に主電源が供給され、スタンバイ状態となります。
※スタンバイ状態ではパワーON/スタンバイ(&ミュート)ボタンが緑点灯します。(右図参照)
「OFF」側に押すと完全に AC 電源が遮断され、すべての操作ができません。
※OFF から ON にした時に、音質がベストコンディションになるまでのウォームアップ所要時間は約 30 分です。



スタンバイ状態

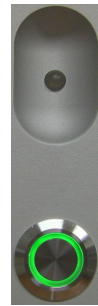
[フロントパネル]



※始めにリアパネルの主電源スイッチを ON にしスタンバイ状態とします。
フロントパネルのボタンが緑点灯します (ボタン上の LED は消灯状態)。



スタンバイでは、出力ステージへのバイアス供給をカットし電力消費を抑えます。
※これにより、次に立ち上げた時のウォームアップ時間は短縮されます。
尚、エアリンクなどのコントロール機能は有効です。



スタンバイ状態

■パワーON/スタンバイ&ミュート (フロントパネル・ボタン)



※このボタンには次の通り「パワーON」「スタンバイ」「ミュート」を切替える三つの機能があります。

- **パワーON** (← スタンバイ) : ボタンを短く押します。 (ボタンは消灯し LED が青点灯します)



パワーON 状態

- **スタンバイ** (← パワーON) : ボタンを約 3 秒間長押しします。
(⚠ ※ボタンは短く押すとミュート状態となりますのでご注意ください)

- **ミュート** (← パワーON) : ボタンを短く押します。 (LED が緑点灯します)

- **ミュート解除**: もう一度ボタンを短く押します。(LED 青点灯のパワーON 状態に戻ります)
(⚠ ※ボタンは長押しするとスタンバイ状態になります)



ミュート状態

Customization/カスタマイズ

■LED の輝度変更

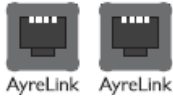
フロントパネルの LED は、高/中/低のいずれかに輝度を変えることが可能です。(初期設定は「高」)
以下、その手順です。

1. リアパネルの主電源スイッチを OFF にし、1 分ほど待つ。
2. フロントパネルのボタンを押したまま主電源スイッチを ON にする。
LED が約 10 秒間「紫色」に点灯しますので、その間に次の操作をします。
3. フロントパネルのボタンを 一回押すと : 「低」に設定
二回押すと : 「中」に設定
三回押すと : 「高」に設定
4. その後約 10 秒経過すると設定がホールドされます。
LED は「緑色」の点灯に変わりスタンバイ状態となります。

※LED が「紫色」に点灯している約 10 秒間の内に何も操作しなければ、輝度は初期設定「高」のまま変わりません。

■AyreLink：エアーク・ポート(リアパネル)の使用

- エアーク・ポートを装備した Ayre のプリアンプを使用する場合、本機と相互にエアーク接続すると、プリアンプが ON/OFF(スタンバイ)するのと連動して同時に本機をパワーON/OFF(スタンバイ)する機能が働きます。



※本機は、二つのエアーク・ポートを装備していますが、どちらのポートでも使用できます。

- エアークの接続に使用するケーブルは、四接点モジュラープラグ(RJ-11)のクロス結線タイプです。



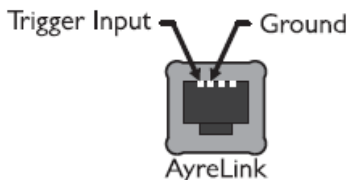
- ・RJ-11 - 電話機用に広く用いられているコネクタ形状ですが、家電量販店等で一般に販売されているケーブルはストレート結線タイプですのでご注意ください。
- ・二接点の RJ-11 モジュラーケーブルはエアーク接続には使用できません。



■AyreLink ぽートをトリガーコントロールとして利用する

- 本機のエアーク・ポートは、エアーク接続していない場合、トリガー入力端子として使用でき、トリガー出力を備えた他のプリアンプからのトリガー信号を受け、その ON/OFF に連動して本機の電源をパワーON/OFF(スタンバイ)することができます。

- トリガー接続ケーブルは、一般的なトリガー端子がミニプラグなどを使用していますので、RJ-11 モジュラーケーブルの端末加工が必要です。端末の一端を外し、出力機器が採用しているプラグに付け替えます。結線は、下図に示す本機エアーク・ポートのトリガー信号をご参照ください。また、トリガー出力機器のコネクタの詳細は、出力機器の取扱説明書も併せてご参照ください。



- 本機のトリガー電圧の許容範囲は 5V~12V、消費電流は 5mA です。



- ・トリガー信号には、レベル・モードとパルス・モードがありますが、本機は自動的にどちらも認識します。(250msec より長いパルス幅のトリガー信号はレベル・モードとして働き、それより短いパルス幅のトリガー信号はパルス・モードとして働きます。パルス・モードの最短検知幅は 200μsec です。)
- ・レベル・モードでは、トリガー入力があると本機は ON になります。また、トリガー入力が無くなるとスタンバイになります。
- ・パルス・モードでは、トリガー入力の都度、パワーON とスタンバイが切り替わります。



- パワーON/スタンバイ・ボタンは、トリガー接続時でも操作可能ですが、パワーON/スタンバイ・ボタンを一度操作するとトリガー出力機との同期は解除されます。その場合、レベル・モード時には、トリガー出力機器の電源 ON/OFF により同期は復活します。パルス・モード時には、同期を復活するにはもう一度パワーON/スタンバイ・ボタンを押す必要があります。

Specifications/主な仕様

[Ayre "VX-5 Twenty"]

- 出力パワー(連続): 175W(8Ω)x2、350W(4Ω)x2
- ゲイン: 26dB
- 周波数レスポンス: DC - 250 kHz
- 最大入力レベル: 16Vrms(バランス)、8Vrms(シングルエンド)
- 入力インピーダンス: 2MΩ(バランス)、1MΩ(シングルエンド)
- 入力: 2系統(バランス、シングルエンド)
- バランス入力極性: Pin 1 = Ground、Pin 2 = Hot、Pin 3 = Cold
- スピーカー出力: 2系統(パラレル)
- 電源: 100VAC 50 / 60Hz
- 消費電力: 15W(スタンバイ時)、150W(無入力時)、800W(最大)
- 外形寸法: 440 W×120 H×480 D(mm)
- 重量: 24kg

Warranty/保証

本機の保証はアクシス株式会社が行いません。

同梱の保証登録カードに必要事項をご記入の上、ご購入後 10 日以内に下記宛にご返送ください。

折り返し、保証書をお送りいたします。

無償保証期間は 3 年間です。

保証についての詳細は、保証書をご覧ください。

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-34-27

アクシス株式会社

TEL 03-5410-0071 / FAX 03-5410-0622



AXISS

輸入発売元: アクシス株式会社 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-34-27 TEL:03-5410-0071 / FAX:03-5410-0622
E-Mail: post@axiss.co.jp Web Site: www.axiss.co.jp